

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

1. 平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
（省 CO2 型リサイクル高度化設備導入促進事業）の公募（第二次）
について
【環境省 平成 28 年 7 月 4 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 熊本災害廃棄物の広域輸送について
（メルマガ 632 号記事補足）
2. 平成 28 年度第 1 回汚染土壌事業化 PT 開催のお知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクル材利活用、北九州港の護岸築造利用を検討
2. 兵庫県、姫路港の港湾計画改訂に向け長期構想素案まとめ
3. 唐津港で水深 9 m 複合一貫ターミナルの航路泊地整備

=====

◇先週・今週の報道発表

平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
（省 CO2 型リサイクル高度化設備導入促進事業）の公募（第二次）
について

詳細は下記をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/102753.html>

【環境省 平成 28 年 7 月 4 日】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 熊本災害廃棄物の広域輸送について（メルマガ 632 号記事補足）

メルマガ前号（632 号；平成 28 年 6 月 29 日発行）の「リサイクルポートに関連する最新の情報」でお知らせした「熊本災害廃棄物を広域海上輸送、井本商運が大阪港へ約 2 万 t」の掲載内容（下段再掲載）について、当該記事は海上輸送のみを紹介し、災害廃棄物の広域処理の委託事業全体について触れていないことから、正確な情報をお伝えできていませんでしたので、お詫びして以下の追加情報をお知らせいたします。

熊本災害廃棄物広域処理の委託状況概要

- ・ 事業主体（委託者） 熊本市
- ・ 災害廃棄物処理受託者 三重中央開発株式会社
（大栄環境グループ会社）
- ・ 再委託業者 仮置場～熊本港間運搬 地元業者（多数）
- ・ 同 熊本港～大阪港（海上輸送）井本商運株式会社
- ・ 同 大阪港～処理施設間運搬 地元業者（多数）

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 熊本災害廃棄物を広域海上輸送、井本商運が大阪港へ約2万t

国土交通省港湾局は、平成28年熊本地震の早期復興に関する取組みの一環として、6月13日からコンテナ船を活用した災害廃棄物の広域海上輸送を開始したと発表した。

井本商運が約2ヵ月間、週3回程度の頻度で熊本港から大阪港に輸送する。

輸送量は2万t程を見込んでいる。熊本市内の災害廃棄物の総量は80万t程度と推計されており、早期に処理する観点から域内での処理に加えて県外での広域処理が求められている。

コンテナを活用した海上輸送については、これまでも東日本大震災や平成27年関東・東北豪雨の際に活用されるなど迅速な復興へ貢献してきた。

今回の海上輸送では、熊本市内の仮置所で災害廃棄物をコンテナで陸送し、井本商運が熊本港から大阪港に輸送する。その後、三重県の廃棄物処理施設に陸送して処分する。使用船舶は、第八芙蓉丸、舩宝山丸（積載可能コンテナ数：72TEU）。

【港湾空港タイムス】

2. 平成28年度第1回汚染土壌事業化PT開催のお知らせ

平成28年度第1回汚染土壌事業化PTを下記の日程で開催致します。
※ご出欠について、未回答の方はご返信をお願い申し上げます。

日程：平成28年7月14日（木）14：00から15：30

場所：みなと総研 3階会議室

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクル材利活用、北九州港の護岸築造利用を検討

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所は、新門司沖に予定する港湾構造物の護岸築造への利用を念頭に、リサイクル材を利活用する方策を検討する。

対象は鉄鋼業及び発電所事業等の産業活動で発生する産業廃棄物を使用したリサイクル材を活用した場合の効果や利点について整理する。現在同検討業務を公示中。技術提案書の提出期間は7月19日～8月9日、8月26日に技術提案書の特定を行う。

同調査業務では産業廃棄物の必要量の把握として天然資源の代替となりうるリサイクル材の数量について算出するとともに、リサイクル材を利活用した場合の効果及び利点について、環境的、経済性等の観点で整理・検討する。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 兵庫県、姫路港の港湾計画改訂に向け長期構想素案まとめ

兵庫県は姫路港の港湾計画改訂に向け、概ね15年～20年後を見据えた長期構想「姫路港の整備・利用のあり方（素案）」をとりまとめた。素案は昨年度設置した検討会で検討してきたもので、バルク取扱機能の強化やコンテナ取扱拠点の形成、環資源の取扱い拠点としての機能等といった主要施策や空間配置案を示している。

整備・利用のあり方案では、姫路港の将来像として①地域の活力源となる強い産業づくりを支える港②交流人口の拡大を支える港③豊かな自然環境を次世代につなぐ港④安全なくらし、安定した企業活動を守る港、といった4点を掲げている。

このうち▽豊かな自然環境を次世代につなぐ港に関連した施策では、循環資源の取扱い拠点としての機能強化、干潟・藻場・浅場の積極的な造成等を推進する。

次期港湾計画は来年度末に改訂する方針。

【港湾空港タイムス】

3. 唐津港で水深9m複合一貫ターミナルの航路泊地整備

九州地方整備局唐津港湾事務所は、今春より供用になった唐津港東港地区の水深9m延長230m（耐震）の複合一貫ターミナルについて、大型クルーズ船の来航などに対応するため、航路泊地を増深するとともに、港口部にある防波堤の先端部を撤去する。

現在航路泊地浚渫や防波堤撤去を効率的に行うための検討業務の手続きに入っているほか、浚渫については就航している定期フェリーの接岸に支障のないエリアを対象に今年度から事業着手する。

【港湾空港タイムス】

発行所：RPPC 広報部会
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
木村 竜也 東京都
梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター
紫牟田 和隆 光和精鉱（株）
新谷 聡 りんかい日産建設（株）
リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菖木
URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がございましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。